

トカラ列島平島から得られたネコザメ

著者	中村 潤平, 本村 浩之
雑誌名	Nature of Kagoshima
巻	45
ページ	373-375
発行年	2019-05-31
URL	http://hdl.handle.net/10232/00031347

トカラ列島平島から得られたネコザメ

中村潤平¹・本村浩之²¹ 〒 890-0056 鹿児島市下荒田 4-50-20 鹿児島大学大学院水産学研究科² 〒 890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30 鹿児島大学総合研究博物館

■ はじめに

ネコザメ科魚類 *Heterodontidae* はインド・汎太平洋の暖海に 1 属 9 種、日本国内においてはネコザメ *Heterodontus japonicus* Maclay and Macleay, 1884 とシマネコザメ *Heterodontus zebra* (Gray, 1831) の 2 種が知られている (波戸岡ほか, 2013; 中坊, 2018)。本科魚類の生殖方法は卵生であり、特徴的な螺旋状の突起のついた卵殻を岩の割れ目などに産む繁殖生態が知られている (仲谷, 1997, 2011)。ネコザメは北西太平洋に分布し (Dyldin, 2015)、浅海の岩礁や藻場に生息しており全長 1.2 m に達する (仲谷, 1997; 波戸岡ほか, 2013)。また、本種は臼歯でサザエや甲殻類の殻を割って摂餌する生態を持つためサザエワリと呼ばれることもある (仲谷, 1997)。

2019 年 3 月 27 日にトカラ列島平島で 1 個体のネコザメが釣獲された。本種の琉球列島における分布の記録は写真や目視・伝聞によるもののみであり (中村, 1970; 藤山, 2004; Nakae et al., 2018)、標本に基づく記録は報告されていない。したがって、上述の個体はネコザメが琉球列島に生息することを証明する証拠標本となるためここに報告する。

Nakamura, J. and H. Motomura. 2019. Record of *Heterodontus japonicus* (Heterodontiformes: Heterodontidae) from Taira-jima island, Tokara Islands, Kagoshima, southern Japan. *Nature of Kagoshima* 45: 373–375.

✉ HM: the Kagoshima University Museum, 1-21-30 Korimoto, Kagoshima 890-0065, Japan (e-mail: motomura@kaum.kagoshima-u.ac.jp).

Published online: 18 April 2019

http://journal.kagoshima-nature.org/archives/NK_045/045-064.pdf

■ 材料と方法

標本の計測方法は岸本ほか (2006) にしたがった。計測はノギスを用いて 0.1 mm 単位で計測し、全長 (Total length) は TL と表記した。標本の作製、登録、撮影、および固定方法は本村 (2009) に準拠した。本報告で用いられた標本はトカラ列島平島産の 1 標本 [KAUM-I. 129109, 雌, 全長 866.0 mm, 鹿児島県鹿児島郡十島村平島南之浜港 (29°40'42"N, 129°31'53"E), 2019 年 3 月 27 日, 釣り, 水深 10 m, 山下薫大・中村潤平採集; Fig. 1] で、鹿児島大学総合研究博物館 (KAUM) に保管されており、生鮮時の写真 (Fig. 1) は同館のデータベースに登録されている。

■ 結果と考察

トカラ列島平島産の標本は、鰓孔が 5 対、背鰭が 2 基で棘を有すること、臀鰭があること、両顎の奥歯が臼歯状に巨大化すること、体に 8 条の不明瞭な暗色横帯があること、第 1 背鰭起部が胸鰭基底後端上に位置すること、鼻孔付近が豚鼻状であること、眼が頭部の上方に位置し、眼の背側に強い隆起線があることなどの特徴が仲谷 (1997, 2011) や波戸岡ほか (2013) が報告したネコザメ *H. japonicus* の標本とよく一致したため、本種と同定された。

本標本の体各部の全長に対する割合 (%) は以下の通りである。尾鰭前長 75.6; 頭長 24.4; 躯幹部長 26.1; 尾部長 29.0; 総排泄孔前長 46.1; 体高 15.4; 尾柄高 3.0; 吻長 13.1; 口前吻長 2.4; 呼吸孔前長 15.5; 眼窩径 2.0; 第 1 鰓裂長 6.8; 両眼間隔 8.6; 鼻孔間隔 6.1; 口幅 10.3; 第 1 背鰭長 10.0; 第 1 背鰭棘長 1.6; 第 1 背鰭高 10.4; 第 2 背鰭長 8.3; 第 2 背鰭棘長 1.4; 第 2 背鰭高 8.2;

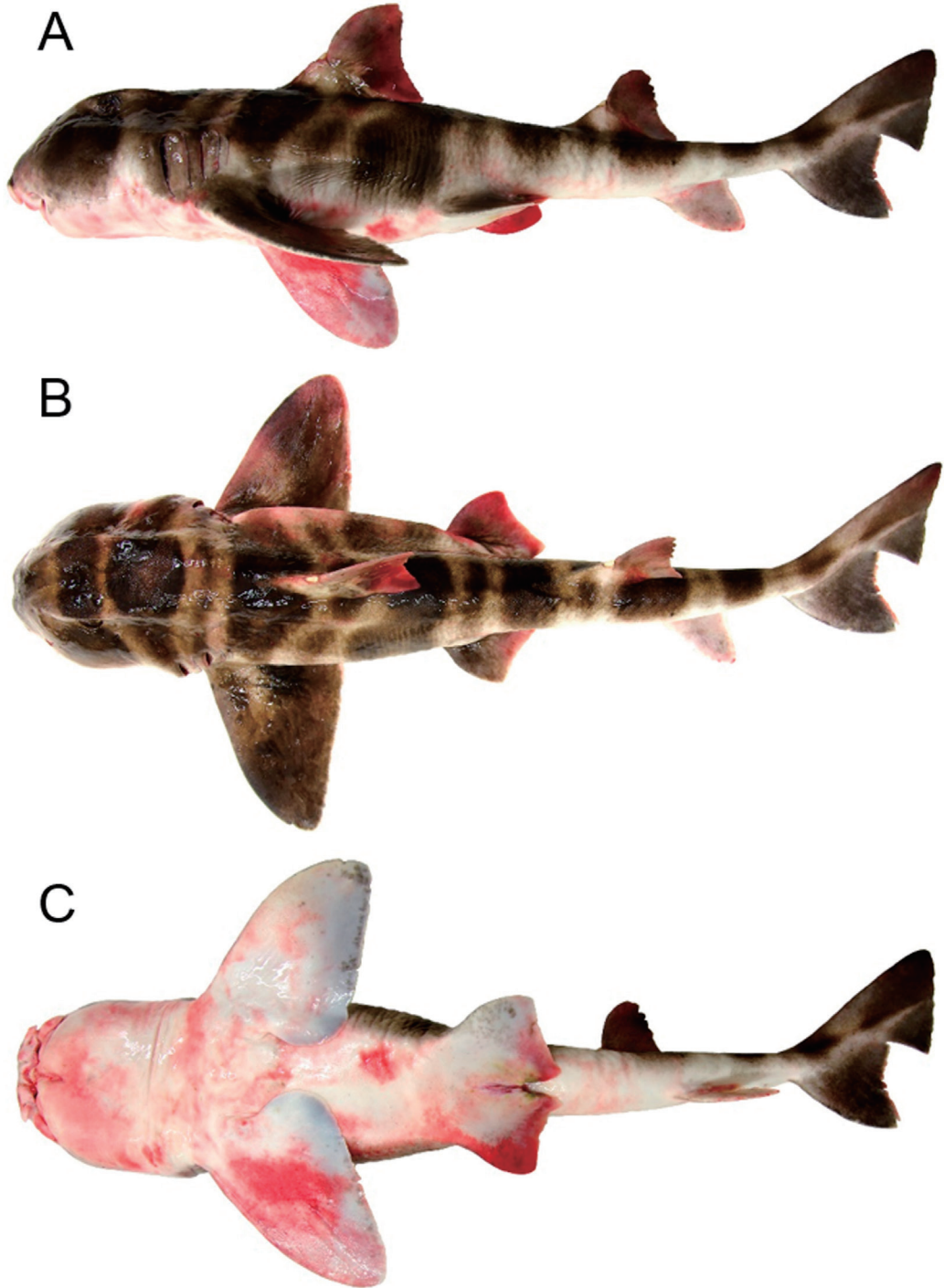


Fig. 1. Fresh specimen of *Heterodontus japonicus* (KAUM-I. 129109, female, 866.0 mm TL) from Taira-jima island, Tokara Islands, Kagoshima, Japan. A: lateral view, B: dorsal view, C: ventral view.

胸鰭長 22.6; 腹鰭長 12.7; 臀鰭長 12.0; 臀鰭高 9.6;
尾鰭上葉長 24.2; 尾鰭下葉長 14.1.

ネコザメは北西太平洋に分布し、日本国内では北海道から薩摩半島南西岸にかけての日本海・

東シナ海沿岸、瀬戸内海、岩手県から大隅半島東岸にかけての太平洋沿岸、甌島列島下甌島、東シナ海大陸棚域、伊豆諸島、小笠原諸島、トカラ列島、および奄美大島からの記録が知られていた(中村, 1970; 仲谷, 1997; 藤山, 2004; 財団法人鹿児島市水族館公社, 2008; 波戸岡ほか, 2013; Dyldin, 2015; 小枝, 2018; 公益財団法人鹿児島市水族館公社, 2018; Nakae et al., 2018). しかし、琉球列島におけるネコザメの記録は、トカラ列島の魚類を目視・伝聞に基づき報告した中村(1970)と奄美大島の釣魚を写真により報告した藤山(2004)に限られ、標本に基づく確かな記録は知られていない。したがって、トカラ列島平島産の標本は、ネコザメの琉球列島からの標本に基づく初めての記録である。

■ 謝辞

本稿執筆にあたり、鹿児島大学水産学部の山下薫大氏、秀海丸の白坂健人氏、用澤満男氏をはじめとする平島の方々には標本の採集にご協力いただいた。また、鹿児島大学総合研究博物館魚類ボランティアのみなさま、和田英敏氏、藤原恭司氏をはじめとする同博物館魚類分類学研究室のみなさまには標本の作製・登録作業にご協力いただくと同時に本稿に対する助言を賜った。これらの方々に感謝の意を表す。本研究は鹿児島大学総合研究博物館の「鹿児島県産魚類の多様性調査プロジェクト」の一環として行われた。本研究の一部はJSPS 科研費(19770067, 23580259, 24370041, 26241027, 26450265), JSPS 研究拠点形成事業—B アジア・アフリカ学術基盤形成型, 国立科学博物館「日本の生物多様性ホットスポットの構造に関する研究プロジェクト」, 文部科学省特別経費「薩南諸島の生物多様性と其の保全に関する教育

研究拠点整備」, および鹿児島大学重点領域研究環境(生物多様性・島嶼プロジェクト)学長裁量経費の援助を受けた。

■ 引用文献

- Dyldin, Y. V. 2015. Annotated checklist of the sharks, batoids and chimaeras (Chondrichthyes: Elasmobranchii, Holocephali) from waters of Russia and adjacent areas. *Publications of the Seto Marine Biological Laboratory* 43: 40–91.
- 藤山萬太. 2004. 私本 奄美の釣魚. 藤山萬太, 奄美. 179 pp.
- 波戸岡清峰・柳下直乙・山口敦子. 2013. ネコザメ科. Pp. 150, 1756. 中坊徹次(編), 日本産魚類検索 全種の同定, 第三版. 東海大学出版会, 秦野.
- 岸本浩和・赤川 泉・鈴木伸洋. 2006. 魚類学実験テキスト. 東海大学出版会, 秦野. 130 pp.
- 小枝圭太. 2018. ネコザメ. Pp. 12–13. 小枝圭太・畑 晴陵・山田守彦・本村浩之(編), 黒潮あたる鹿児島島の海内之浦漁港に水揚げされる魚たち. 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島.
- 公益財団法人鹿児島市水族館公社. 2018. 鹿児島水族館が確認した—鹿児島島の定置網の魚たち 増訂版. 公益財団法人鹿児島市水族館公社, 鹿児島. 335 pp.
- 本村浩之. 2009. 魚類標本の作製と管理マニュアル. 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島. 70 pp. (<http://www.museum.kagoshima-u.ac.jp/staff/motomura/dl.html>)
- 中坊徹次. 2018. ネコザメ目 Heterodontiformes. P. 15. 中坊徹次(編), 小学館の図鑑 Z 日本魚類館. 小学館, 東京.
- Nakae, M., Motomura, H., Hagiwara, K., Senou, H., Koeda, K., Yoshida, T., Tashiro, S., Jeong, B., Hata, H., Fukui, Y., Fujiwara, K., Yamakawa, T., Aizawa, M., Shinohara, G. and Matsuura, K. 2018. An annotated checklist of fishes of Amami-oshima Island, the Ryukyu Islands, Japan. *Memoirs of the National Museum of Nature and Science, Tokyo*, 52: 205–361.
- 中村伸一. 1970. トカラ列島・中之島の自然. 十島村立中之島中学校, 十島村. 188 pp.
- 仲谷一宏. 1997. ネコザメ目 Heterodontiformes. Pp. 34–35. 岡村 収・尼岡邦夫(編), 山溪カラー名鑑 日本海水魚. 山と溪谷社, 東京.
- 仲谷一宏. 2011. Sharks サメ—海の王者たち—. ブックマン社, 東京. 237 pp.
- 財団法人鹿児島市水族館公社. 2008. 鹿児島水族館が確認した—鹿児島島の定置網の魚たち. 財団法人鹿児島市水族館公社, 鹿児島. 260 pp.